



寒さも本格的に厳しくなってきましたが、子どもたちは寒さにも負けず戸外でたくさん身体を動かして遊んでいます。先日行われたくろの秋まつりでは、何を食べようかと悩みながらチケット売りに並び、買ったチケットを握りしめ、わくわくしながら列に並び子など楽しそうな子をたくさん見かけました。いつもよりおしゃれをして、いつもと違った雰囲気友達に会うと、なんだか照れくさそうにしながらも一緒に豚汁を飲んだり、だんごを食べたりとても嬉しそうでした。ホールでのちぢみこ作りや製作遊びでもお母さんお父さんと協力して素敵なキーホルダーを完成させることができました。12月も、もちつきやクリスマス会など行事があります。みんなで季節を感じながら楽しく参加できたらいいなと思います。



### ★今月のテーマ★

#### 「相手の目を見てあいさつをする」

友達に会った時、保育教諭に会った時に目を見て元気よく挨拶ができない子を見かけます。そこで、今月は家族、友達、保育教諭に元気よく挨拶ができるように取り組んでいきたいと思っています。会った人に自分から挨拶ができると、挨拶をした人もされた人もとてもいい気持ちになります。そして、目を見て挨拶をすることで会話が生まれたりコミュニケーションをとるきっかけとなり、楽しい一日のスタートが切れます。友達に会った時には「おはよう」と笑顔で挨拶をしますが、大人に対しては「おはようございます」と丁寧に挨拶ができると素敵です。視線を合わせながら「おはようございます」と言い、丁寧な挨拶が習慣づけられるようにしていきたいと思っています。また、朝の挨拶はできていても、帰りに元気よく「さようなら」と言える子が少ないです。「バイバイ」ではなく、「さようなら」と丁寧に挨拶ができるといいですね。「おはようございます」や「さようなら」と、お家の方が先に挨拶をしたり、一緒に言うことで「私も大きな声で挨拶をしてみよう」という気持ちに繋がり、みんなで気持ちよく挨拶が出来るようになるといいですね。

#### <子どもが安心して生活できるように保育教諭がすること>

- \* 感染症が流行する季節なので、こまめに手洗いうがいの声掛けをして体調を崩さないようにします。
- \* ルールのある遊びを取り入れながら、友達と協力して遊ぶ楽しさを味わえるようにします。
- \* 自分の気持ちが伝わった時の喜びが感じられるように保育教諭も共感しながら話を聞いたり一人ひとりの表現の仕方に共感し自信や意欲に繋がるようにします。
- \* 風の冷たさや木の変化を感じ、子どもたちが興味を持ったことを調べられる環境を作ります。
- \* 年末年始にかけて大掃除や日本の伝承遊びを経験します。



## <子どもの遊びや教育的活動>

- \* 寒さや活動内容に応じて室内環境や衣服の調節等に気をつけて健康に過ごします。
- \* ルールのある遊び(転がしドッジや氷鬼)を楽しむことで、ルールを守る大切さを知ります。
- \* 風の冷たさや木の変化に気づき、友達や保育教諭と季節を肌で感じながら遊びます。
- \* 音楽に合わせて友達と歌ったり、楽器を鳴らしたりして遊ぶことを楽しみます。
- \* 自分の思いや考えを伝えたり相手の話を聞こうとしたりします。

## <お願いします>

- \* 縄跳びを使って遊ぶことが多くなりました。スカート、スカート付きのズボン、フード付きの動きにくい服は避け、活動的で安全な服装で登園して下さい。
- \* 記名のない持ち物が多く見られます。一度すべての物に名前が書いてあるかを確認して下さい。
- \* まだ歯ブラシを持ってきていない子がいます。給食後に必ず磨きますので持たせていただくようにお願いします。
- \* 黄靴にたくさんのキーホルダーをつけている子がいます。一人ひとつまでにして頂きますようにお願いします。



## ★エピソード★

2組では職業について学習しました。みんなが食べている物、使っている物、着ている物は誰が作っているのだろうと考えました。スーパーに並んでいる野菜は野菜農家の人の手で作られていたり、木製の玩具は木を切る作業員の人切った木を、玩具職人の人が作っていたりと、自分たちの元へ来るまでの過程を知りました。その中で、服のデザインを考える“デザイナー”と、服を作る“パタンナー”になってみようとする自分の服のデザイン画を描いてみました。どうやって描くかなと見てみると、「恐竜描いたよ」「私はリボンを描いたよ」「フリフリのレースをつけたよ」と本物のデザイナーになりきりながらサインペンを使って細かい模様を沢山描いたり、自分が好きな物や着たい柄を思い思いに描いていました。友達のデザインを見ながら「そのハート可愛いね」「〇〇君の青いズボンかっこいいから僕も青色で描いてみよう」と参考にする子もいて楽しくデザインを描いていました。デザインが終わると、次は布生地から洋服が出来上がる様子を実際に見せてもらいました。型紙を使って型を合わせたり、専用のハサミで布を切ったり、ミシンを使って生地を縫い合わせていく様子を見て「おお～、針が動いているね」「上にある糸がぐるぐる回りながら動いているよ」と驚きと発見の声が沢山聞こえてきました。完成した何もついていない洋服に次は自分でデザインした物を表現します。端切れやボタン、ビーズやモールなどを用意し、「布を切るとひらひらが出来るよ」「モールを丸めてねじねじするとくっつくよ」と方法を伝えると、「あ、それやってみたい」と言う子ども達。実際に作り始めると「ん～、ここに作りたいたいけど何で作ろう」とデザイン画を参考にしながらモールをハートの形にしたり、端切れを切って星形にしてみたりと工夫して作る姿が見られました。また、針と糸を使って裁縫に挑戦する子もいました。最初は針から糸が抜けてしまったり、四方八方に糸が出てきたりして苦戦していましたが、「上から通して、次は下から通すよ」と保育教諭が付き添いながら縫ってみたり「針と糸を一緒につかみながらひっぱると針から糸が抜けないよ」と説明していくと、だんだんと仕組みが分かり「もう自分で出来るよ」と自信満々の表情で楽しむ子もいました。そんな友達の姿を見て「怖いけどやってみたい」と挑戦してみる子もいました。完成した洋服を早速着てステージで歌ったり、「いらっしやいませ、こんなのかわいいですよ」と服屋の店員さんになりきったりと楽しんでいきます。12月は動物の学習遊びをしていきます。

